

## 第 79 回 手術手技研究会主催報告

### 大阪国際メディカル&サイエンスセンター 竹政伊知朗

2025 年 11月7日（金）・8日（土）にコンgresクエア大阪中之島および大阪大学中之島センターにおいて、「第 79 回手術手技研究会」を開催させていただきました。ご参加ならびにご支援いただきました皆様にこの場をおかりして心より厚く御礼申し上げます。



手術は「サイエンス」としての確固たる基盤を持ちつつ、経験と知識の蓄積によって進化を続ける一方で、外科医の感性や創造性が重要な役割を果たす「アート」の側面も併せ持っています。そこで、今回のメインテーマを「手術のアートとサイエンス—次世代への伝承—」といたしました。主題は「手術のアート伝承」および「手術のサイエンス伝承」とし、手術に内在するアート（美しさや洗練性）と、手術の基盤であるサイエンス

（安全性や根治性）の両面を、いかに次世代へ伝承するかについて討論を行うことを目的としました。

全国の著名な先生方に多数ご講演を賜り、充実した内容となりました。

本研究会は、日本での 20 年ぶりの大規模万博である「大阪・関西万博」

（2025 年 4 月 13 日～10 月 13 日）の開催に伴い、例年 5 月に開催されてきた手術手技研究会とは異なり、11 月の開催となりましたが、主題 26 題、エキスパートビデオ 7 題、一般演題 126 題、ビデオ賞 4 題、研究賞 2 題、さらに 9 つの共催セミナーを含む計 184 題のご発表をいただきました。また、全国より 278 名の先生方にご参加いただき、活発な討論が行われ、大変有意義かつ盛り多い研究会となりましたこと、あらためまして深く感謝申し上げます。



ビデオ賞は、藤原尚志先生（上部）、小倉淳司先生（下部）、齊藤健太先生（肝胆膵）、内田真介先生（呼吸器）が受賞され、奨励研究賞は野路武寛先生、指定研究賞は福岡幸大先生が受賞されました。受賞され

ました先生方には、それぞれ大変示唆に富むご講演を賜りました。また、会場には最新鋭の手術支援ロボット「da Vinci 5」「ANSUR」をはじめ、遠隔手術支援システムや低侵襲機器などの機器展示も行い、多くの先生方にご関心をお寄せいただきました。

手術手技研究会では例年、研究会初日の夜に全員懇親会を開催しておりますが、今回は日程や開催地の変更などを踏まえ、感謝の意を込めて「GLION MUSEUM（大阪赤レンガ倉庫）」にて会長招宴を開催させていただきました。これまでの懇親会を上回る多くの先生方にご参加いただき、和やかな雰囲気の中で有意義なひとときを共有することができました。



伝統ある手術手技研究会の第 79 回当番世話人を務めさせていただきましたことは、私個人のみならず、大阪大学消化器外科の教室ならびに同門にとりましても大きな栄誉でございました。無事成功裡に終えることができましたこと、あらためて厚く御礼申し上げます。

本研究会の準備ならびに運営にあたり、不行き届きの点多々あったことと存じますが、何卒ご寛恕賜りますようお願い申し上げます。

ご指導いただきました宇山一朗会長ならびに研究会事務局の皆様、そして多方面にわたりお力添えをいただきましたすべての先生方、関係者の皆様に深く感謝申し上げます。これをもちまして第 79 回手術手技研究会主催報告とさせていただきます。

大阪国際メディカル&サイエンスセンター

竹政 伊知朗